

数

学

高1・2生

高1・2基礎数学 α β 【360分】

下田 雄太 先生

【こんな人のための講座】

- 高校数学の根本をおさえた学習をしたい人
- 学校の教科書事項を総点検しながら演習したい人
- 共通テストに向けて対策をしたい人

【講座のポイント】

- ① 扱う単元のそもそも話(単元の要約)を知り、覚えるべき知識が応用しやすい状態になる
- ② 定理&公式の意味や、基本問題の解法の流れを「言葉で説明できる」ようになり覚えやすくなる
- ③ 重要問題の演習量をしっかり確保できる

【講座内容】(α :90分×全2回/ β :90分×全2回)

「基礎なくして応用は解けず」

当たり前ですが、数学において《基礎》をしっかり勉強できている人は少ないです。《基礎》を《基本》と間違えて勉強してしまっている人も多いです。高校数学においての《基礎》は学校の教科書に書かれています。この教科書がしっかり身につけていけば、数学は苦勞しません。そして応用問題も解けるはず。今後の勉強の土台となる数学の《基礎》を、必ずできなければならない基本問題を使いながら各単元、テーマごとに教えます。毎回、「そういうことか！」と納得と発見の繰り返しをしてもらい、嫌が応にも「数学がわかる」状態を作り、その後の演習で「数学ができる」に連れていきますよ！

“先生の言っていることの意味がわからなくて辛い数学”から、一緒に卒業しましょう！

〈宿題について〉

毎回の講義で宿題問題が出されます。自分のレベルに合わせて解けるところまでやり、次の授業で提出。授業担当の講師が直接丸付けをしてお返しします。

【小テストについて】

なし

【担当講師からメッセージ】

数学の重要度が増してきて、なおかつその勉強の仕方も問われています。そんな今の数学入試でもしっかり突破できる力をつけますので、毎回頑張ってください！

高2生(現行課程)

	基礎数学α (前半60分はα(I A中心)カリキュラムを扱います)	基礎数学β (後半60分はβ(II B中心)カリキュラムを扱います)
新学年準備講座		
春期講習		
1学期		
①	2次関数(I)	図形と方程式(II)
②	2次関数(I)	図形と方程式(II)
③	2次関数(I)	図形と方程式(II)
④	2次関数(I)	図形と方程式(II)
⑤	場合の数(A)	指数対数(II)
⑥	場合の数(A)	指数対数(II)
⑦	確率(A)	指数対数(II)
⑧	確率(A)	指数対数(II)
⑨	確率(A)	数列(B)
⑩	数と式(I)	数列(B)
⑪	数と式(I)	数列(B)
⑫	数と式(I)	数列(B)
夏期講習	総点検	総点検
2学期		
①	三角比(I)	ベクトル(B)
②	三角比(I)	ベクトル(B)
③	三角比(I)	ベクトル(B)
④	図形の性質(A)	ベクトル(B)
⑤	図形の性質(A)	三角関数(II)
⑥	図形の性質(A)	三角関数(II)
⑦	いろいろな数式知識(II)	三角関数(II)
⑧	いろいろな数式知識(II)	高次方程式(II)
⑨	整数(A)	微積分(II)
⑩	整数(A)	微積分(II)
⑪	整数(A)	微積分(II)
⑫	整数(A)	微積分(II)
冬期講習	総点検	総点検
3学期	総点検	総点検

高1生(新課程)

	基礎数学α (前半60分はα(I A中心)カリキュラムを扱います)	基礎数学β (後半60分はβ(II B中心)カリキュラムを扱います)
新学年準備講座		
春期講習		
1学期		
①	2次関数(I)	図形と方程式(II)
②	2次関数(I)	図形と方程式(II)
③	2次関数(I)	図形と方程式(II)
④	2次関数(I)	図形と方程式(II)
⑤	場合の数(A)	指数対数(II)
⑥	場合の数(A)	指数対数(II)
⑦	確率(A)	指数対数(II)
⑧	確率(A)	指数対数(II)
⑨	確率(A)	数列(B)
⑩	数と式(I)	数列(B)
⑪	数と式(I)	数列(B)
⑫	数と式(I)	数列(B)
夏期講習	総点検	総点検
2学期		
①	三角比(I)	ベクトル(C)
②	三角比(I)	ベクトル(C)
③	三角比(I)	ベクトル(C)
④	図形の性質(A)	ベクトル(C)
⑤	図形の性質(A)	三角関数(II)
⑥	図形の性質(A)	三角関数(II)
⑦	いろいろな数式知識(II)	三角関数(II)
⑧	いろいろな数式知識(II)	高次方程式(II)
⑨	数学と人間の活動(A)	微積分(II)
⑩	数学と人間の活動(A)	微積分(II)
⑪	数学と人間の活動(A)	微積分(II)
⑫	数学と人間の活動(A)	微積分(II)
冬期講習	総点検	総点検
3学期	総点検	総点検

※カリキュラムは目安であり、予告無く変更される場合があります。